

特集

第16回通常総代会

白山農業協同組合 第16回通常総代会



表紙の写真 第16回通常総代会（白山市鶴来総合文化会館クレイン）

6月17日（土）にJA白山「第16回通常総代会」を開催しました。
 コロナウィルス感染症の5類移行を受け本年の通常総代会は人数等の制限を設けず平年通りの開催となりました。

令和4年度
第16回通常総代会議案書

日時：令和5年6月17日（土）午前10時
 場所：白山市鶴来総合文化会館クレイン 大ホール

JA 白山農業協同組合

本資料を総代会当日ご持参下さい。



JA 白山
 (@530vzuic)



白山農業協同組合
 (@ja.hakusan)





第16回通常総代会

6月17日、白山市鶴来総合文化会館クレインにて第16回通常総代会を開催し、総代528名のうち513名が出席（うち299名は書面による出席）しました。

コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同等の5類感染症に移行したことに伴い、本通常総代会においては人数等の制限を設けず平年通り開催することと致しました。

開会にあたり4期12年に渡り組合長を務め今期限りで退任する竹内文雄代表理事組合長は冒頭のあいさつで、平成19年の3JA合併から15周年を迎えられたことに感謝の意を伝え、ロシアのウクライナ侵攻や新型コロナウイルスによる世界経済の混乱によって大変厳しい状況に置かれている農業経営と組合員の豊かな暮らしの実現にむけて「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標にJA役員一丸となって取り組んだ結果を報告しました。

通常開催となった本通常総代会では、来賓として今年4月に新





市長に就任した田村敏和白山市長、石川県農業協同組合中央会西利章専務理事、石川県議会議員横山隆也議員、車幸弘議員からご祝辞を賜り、これまで長年組合長を務めた竹内組合長への労いと農業の振興、地域の発展、組合員とJAの益々の発展と活躍を願う激励を頂戴しました。

議案審議では議長に大神支店の藤田和久総代と手取支店の村田靖総代を選任し、令和4年度事業報告及び剰余金処分案、令和5年度事業計画の策定、役員の選任等を含む全6議案が審議され全て可決承認されました。

令和4年度決算の内容は事業総利益10億7916万円、経常利益1億8183万円、当期末処分剰余金は3億2059万円です。

議長の大役を務めて頂いた藤田和久さん村田靖さんありがとうございました。

なお、今回選任された新理事・新監事23名はJAだより7ページにご紹介させて頂きます。

農業功労賞

農事組合法人 白山農産組合
代表理事 半田 義春

農業奨励賞

有限会社 中本農園
代表取締役 中本 弘之

農業特別賞

大神支店 三納 数枝
手取支店 中西 昌子



永年勤続職員表彰



30年

大神支店 辰巳 千夏

20年

金融共済部 阿部羅香織
営農部 西田 陽一
営農部 高畠 秀樹
つるぎ支店 高橋 一美
大神支店 木村百合恵



総代会と地区別議案説明会で寄せられたご質問とご意見

◆「加賀地区6JAの合併について」

質問1 JA合併の基本姿勢について「適切な時期に参画を判断する」とあるが、どう解釈すれば良いのか。(蝶屋支店)

回答1 基本姿勢は6JAが一丸となって合併を行うことですが、合併参画するJAの経営改善の取り組みが不十分と判断する場合は再考・検討の必要があるということとです。

当JAでは沿岸部から中山間地域まで広域を抱え事業量に対し施設が多くなるなど不利な要素が多いため、今日まで独自に合理化と改善を進めて参りました。

6JAの中でも先行して経営改善を進め健全な経営体となっております。



質問2 合併に前向きではないJAがあると聞いているが、前向きなJAだけで合併すればよいのではないか。(大神支店)

回答2 6JA全てが合併に向かい準備を進めているとは言い難い現状となっております。

しかしながら、財務の充実、管理部門の合理化、施設の統廃合等合併メリットは加賀地区6JAが一つになって得られるものも多く、今後とも一体的に前進するよう努めて参ります。

◆「職員数の減少について」

質問1 職員数が大きく減少しているのはなぜか。毎年のように園芸指導員が変わるので不安だ。(つるぎ支店・大神支店)

質問2 丸いもを生産しているが、近年営農担当者が1年程度で変わる。2〜3年継続して担当するようお願いしたい。(手取支店)

質問3 中堅職員の退職が多いように思われる。職場の労働環境や雰囲気気を配り、退職者が出ないよう努めてほしい。(手取支店)

回答1・労働人口の減少と雇用の流動化によって中途退職者が増えている現象は当JAだけではなく他の一般企業やJAでも同様です。

当JAにおける退職理由も様々ありますが、営農部門で退職者が多い実態もあり対策が必要であるという認識を持っております。

特に営農部門では取巻く環境も厳しく、農産物の生産量に対して共同利用施設が多いため自ずと職員の業務範囲も広くなり責任が掛かります。

定年退職や中途退職がある度に補充はしても業務習得までは既存職員の負担が増え、それが退職の要因になる場合もありました。

今後こういったことが起こらないよう営農部門のみならず全部署で適切な要員体制を構築し、業務と責任を分担し、休日も確実に取れるよう労働環境の改善を図ります。

また、日々職員とのコミュニケーションを図り、待遇も見直すことで中途退職を防止し、組合員サービスの維持、向上に努めて参ります。

◆「営農関係について」

質問1 法人の社員食堂に地元の米や野菜を使用してもらえないかと提案したが結果

を教えてください。(つるぎ支店)

回答1 過去に営農部署で営業を行った結果、大企業の食堂運営は全国規模の運営会社に外部委託しており、米、野菜等は委託先の本部一括仕入れで量、価格面で商談成立には至りませんでした。

しかし、昨今の従業員満足度や地域貢献に関する企業の関心が高まってきているとの情報も頂いたことから再度推進を検討して参ります。

質問2 農業用ドローンの活用についてJA

は積極的に取り組みを進めていくのか。また、管内の事例等があったら説明してほしい。(蝶屋支店)

回答2 水稻の基幹防除作業で活用しており、今後は水稻直播や追肥でも利用を検討しています。

事例として、管内の農業法人では4年程前からスマート農業の導入が進んでおり、現時点では水稻の基幹防除を中心に活用されていますが、今後は園芸や追肥等にも利用する計画です。

なお、ドローンの操作は従来の民間資格から国家資格(技能証明)が必要となり、先般JAから免許取得講習会をご案内させて頂きましたので興味のある方は営農部にお問い合わせください。

質問3 農業機械の大型化や高齢化に伴い、農作業事故が年々増加している。このため、

運転技能講習や安全講習、免許の取得等、農作業安全のための取り組みを進めていく環境づくりが大切だと思ふ。(蝶屋支店)

回答3 安全対策として、シートベルトやヘルメットの着用等、JA、全農、メーカーが協力し、生産者の安全意識の向上に取り組んでいます。今後更なる啓発を進めて参ります。

なお、農作業の安全講習については、メーカー協力のもと年1回開催しており、どなたでも無料で受講が可能なのでご案内させて頂きます。

◆「購買関係について」

質問1 Aコープの収益はJAの収益に反映されているのか。(蝶屋支店)

回答1 Aコープ経営をジャコム石川に移管しているため、店舗の売上による収益は反映されません。賃料のみ収益計上しております。

◆「令和4年度決算の減損処理について」

質問1 手取支店の地価下落により減損処理を行ったとあるが、なぜ今期行う必要があるのか。(総代会)

回答1 今回の減損処理は令和4年度決算で会計監査法人から適正意見を受けるために必要な措置です。

手取支店は土地造成に多額の費用を要

しており、一方で地価の下落が進んだことから減損判定の対象となりました。信用事業収益の低下により将来キャッシュフローが固定資産帳簿額を下回ることとなったため今期減損処理を行うものです。

◆「有機農業の取組みについて」

質問1 全国的にも学校給食にオーガニック給食を導入する地方自治体が増加しており、JAでも有機農業の推進に取り組んで頂きたい。(総代会)

回答1 有機農業は栽培管理が難しいうえ収穫量と品質が安定せず取り組む生産者が限られる状況です。

しかし、国も一部で有機農業を推進していることから、まずはよらんかいねえ広場の出荷者を中心に有機農業を提案し、研修会を実施するなど前向きに取り組んでいきたいと考えております。



就任のご挨拶



代表理事組合長

つかだ しげのり
柄田 俊樹

組合員の皆さまには、平素よりJA事業に格別のご厚情を賜り心からお礼申し上げます。

この度、6月17日に開催された第16回通常総代会後の組織理事会での推挙により代表理事組合長に就任いたしました。

4期12年に渡りJA白山をけん引頂いた竹内前組合長の後任として、また農業とJAを取り巻く環境がより一層厳しさを増すなかでの組合長として責務の重大さを痛感するとともに、これまで9年間培った代表理事常務の経験を活かし全身全霊で職務を全うする所存でございます。

3年間続いた新型コロナウイルスもインフルエンザと同等の5類感染症に移行し、国民生活と経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあるなか、ロシアのウクライナ侵攻を発端とする世界経済の混乱によつて生産資材の多くを輸入に頼る農業経営は極めて厳しい状況に置かれています。JA経営においてもこれまで経営の柱であった信用共済事業の収益低下が顕著となるなか、営農事業と経済事業を含めた総合事業の強みを活かしながら、これまで同様「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ役職員一丸

となつて健全経営に取り組んで参ります。

今後とも組合員皆さまのより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。



代表理事専務

よしだ せいいち
吉田 誠一

平成31年にJAグループ石川は県3JA構想を策定し、当初合併目標期日を令和4年4月と致しました。その後、加賀地区6JAにおいて合併期日を令和7年4月に延期し、今また令和9年4月に再延期することになりました。

当JAは、将来的に信用・共済事業の維持、伸長は困難で、多数の共乾施設を有する営農事業の要員確保、収益改善も難しいことから、当初より合併に前向きに取り組んで参りましたが、今後は再々延期も想定しながらの事業運営が必要と考えているところです。

では、今後長期に渡り単独で存続するにはどうすればいいのでしょうか。

全ての組合員が農業生産者なら、農産物により高く販売し、生産資材をより安く提供することで存続が可能となるのですが、正組合員の8割以上が離農し多種多様な生き方、価値観を持つ現在、何をすべきかから模索しないといけない状況にあります。

地域になくはならないJA、組合員の負託に

応えるJA、組合員の意思を反映した経営をするJAとはどのようなJAなのでしょう。この3年間役職員でしっかり考え、方向を定め実践し、あつてよかつたと思われるJAづくりを尽くします。ご意見やご協力を心からお願ひし就任のご挨拶と致します。



代表理事常務

まえだ ひろし
前田 浩司

この度の、役員改選に伴い金融担当常務理事として選任されました前田でございます。

信用事業につきましては、長引く日銀によるマイナス金利政策を背景に事業収益の低下が進むなど取巻く環境は依然として不透明ではありますが、渉外体制整備、投資信託、相続等の相談機能を充実させ事業運営体制の更なる強化に加え、担い手等に対するコンサル機能の発揮により地域農業振興に寄与する農業金融機能の高度化に努めてまいります。

また、共済事業では地域に密着したJAとして、3Q訪問活動を通じて組合員・利用者との信頼関係を深め、渉外によるニーズに応じた「ひと・いえくるま」の普及提案に取り組み安心と満足提供に努めてまいります。

JA白山が、地域農業の振興と地域の活性化に向けた役割を発揮できるよう、微力ながら精一杯取り組む所存でございますので、組合員・地域の皆様より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第7期 役員紹介

令和5年6月17日開催の第16回通常総代会において
新役員が選出されました。
(理事18名/監事5名)

【理事】



代表理事常務
まえだ ひろし
前田 浩司
(大神)



代表理事専務
よしだ せいいち
吉田 誠一
(学識経験者)



副組合長
やました つぐひさ
山下 次久
(白峰)



代表理事組合長
つかだ しゅんじゅ
柄田 俊樹
(つるぎ)



理事
みやもと つよし
宮本 剛
(つるぎ)



理事
みなみ けんいち
南 健一
(蝶屋)



理事
みやかわ ひろふみ
宮川 宏文
(蝶屋)



理事
よしくら ようこ
吉倉 陽子
(蝶屋)



理事
くすき さだあき
朽木 定昭
(大神)



理事
みやした ひとみ
宮下 ひとみ
(つるぎ)



理事
なかだ よしあき
中田 善昭
(つるぎ)



理事
たかもと ゆうすけ
高本 祐輔
(つるぎ)



理事
にし のとみえ
西納 富美恵
(つるぎ)



理事
おくたに ひでき
奥谷 英喜
(手取)



理事
よこがわ としひろ
横河 利博
(手取)



理事
しおぐり よしお
塩栗 与嗣男
(手取)



理事
たにくち まさのぶ
谷口 政信
(手取)



理事
つつだ のぶこ
土田 信子
(手取)



員外監事
おがわ まさき
小川 正樹
(学識経験者)



監事
まきぐち はじめ
牧口 肇
(手取)



監事
きたもと つとむ
北本 勉
(つるぎ)



常勤監事
やまぐち みつお
山口 光男
(学識経験者)



代表監事
しのだ わたる
篠田 济
(蝶屋)

【監事】

竹内前組合長お疲れ様でした

平成23年から4期12年に渡ってJA白山の組合長を務め、さまざまな功績を残された竹内文雄さんが令和4年度の任期をもって退任されました。



～12年の功績～

- 平成25年 つるぎ支店オープン
- 平成27年 よらんかいねえ広場
オープン
- 平成27年 手取カントリー
大規模改修
- 平成28年 新白峰支店オープン
- 平成29年 よらんかいねえ広場
来場100万人
- 平成30年 道の駅「めぐみ白山」
オープン
- 令和元年 組合員7,000人達成
- 令和2年 蝶屋ライスセンター
大規模改修
- 令和2年 手取カントリー
色彩選別機導入
- 令和3年 新育苗センター稼働開始
- 令和3年 Aコープ手取店改装オープン



竹内前組合長から柄田新組合長にバトンが引継がれました



よらんかいねえ広場8周年祭

6月30日で8年目を迎えたよらんかいねえ広場では日頃の感謝の気持ちを込めて6月30日(金)～7月2日(日)の3日間8周年祭を開催しました。

この3日間で5,456人の来店と前年を上回る1,200万円の売上があり、時折雨が降るあいにくの空模様にもかかわらず店内は大いに賑わいました。

店頭では毎年恒例となった提携先ファーマーズマーケット直送の桃とスイカが人気を集め、店内では地元生産者の新鮮な野菜をいくつも手に取りながら売り場を回るお客様が多く見られました。

1日(土)のマグロ解体ショーでは長崎産53kgの大きなマグロが職人によって次々柵に切り分けられ、大トロから赤身まで1パック1,000円の新鮮なマグロを求め長蛇の列となりました。

8周年祭ではお買い上げ5,000円毎にお買物券や商品券が当たるハズレ無しレシートくじを開催しており3日間盛況のうち幕を閉じました。

JA白山公式ラインではよらんかいねえ広場を中心としたお得な情報発信中です。まだ登録がお済みでない方は是非登録をお願いします。



JA白山
公式LINEは
こちら



理事会だより

第3回理事会

日時/令和5年6月14日(水) 午後3時30分

審議事項

- 第1号議案 令和4年度期末監事監査指摘事項に対する回答について
- 第2号議案 行政庁に提出する第16年度業務報告書の承認について
- 第3号議案 出資口数の変動について
全議案を審議し承認されました。

報告事項

- 1 令和5年5月末事業実績について
- 2 支店別議案説明会における主な意見質問に対する回答について
- 3 会計監査人の再任について
- 4 JAバンク基本方針に基づくJA財務モニタリングの結果について
- 5 その他
第6期(令和2年6月～令和5年6月)役員会計報告について



営農だより



水稻生育巡回



7月4日(火)～7月7日(金)の4日間、美川地区から手取尾口地区まで順番に管内3地区60町で水稻生育巡回指導を行いました。

J A営農指導員が葉色計を手に各町1時間程度の時間を設け巡回、各圃場で水稻の葉色や幼穂長などを計測し、穂肥や追肥、水管理、除草管理などの栽培に関する相談を実施しました。

今年は大候にも恵まれたことから水稻は順調に成長し、生育はやや早めとなっています。

品種毎の出穂は、早生の「ゆめみづほ」が平地で7月17日頃、中生の「コシヒカリ」が平地で7月30日頃に出穂する見込みです。

このあと、仕上げ除草と基幹防除を行い8月下旬からいよいよ稲刈りが始まります。

マイカーセンター



令和5年

未使用車



ダイハツオートダーククロムベンチャー

177万円

車体色：サンドベージュメタリック
走行距離：10km
車検：令和8年5月
4WD/フル装備/オートAC/プッシュスタート/キーフリー/LEDヘッドライト/衝突被害軽減/TV(フルセグ)/9インチディスプレイオーディオ/パノラミックビューモニター/純アルミホイール/ふらつき警報機能/後方誤発進/誤発進制御機能/車線逸脱警報機能/先行車発進お知らせ機能/標識認識機能

令和5年

未使用車



トヨタヤリスクロス G FF

218万円

車体色：ブラックマイカ
走行距離：10km
車検：令和8年6月
フル装備/スマートキー/キーフリー/LEDヘッドライト/衝突被害軽減/8インチディスプレイオーディオ/パノラミックビューモニター/レーントレーシングアシスト/パーキングサポートブレーキ/ブラインドスポットモニター/オートハイビーム

平成31年

中古車



トヨタプリウス S

175万円

車体色：グレー
走行距離：24,800km
車検：令和6年2月
プッシュスタート/スマートキー/LEDヘッドライト/ETC/衝突被害軽減/純正ナビ/TV(フルセグ)/バックカメラ/クルーズコントロール/車線逸脱警報機能/オートハイビーム

平成30年

中古車



日産キューブ 15X Vセレクション

95万円

車体色：ブラウン
走行距離：36,200km
車検：車検整備付
プッシュスタート/キーフリー/ETC/純正ナビ/TV(フルセグ)/バックカメラ/ドライブレコーダー

保険料・登録料等に伴う諸費用、各種税金等は別途申し受け致します。

〈お問い合わせ〉 JA白山マイカーセンター 272-0444



能登地方地震 復興支援 定期貯金



2023年6月19日(月)～8月31日(木)

商品の概要

商品名 能登地方地震復興支援定期貯金

対象 個人の方

商品の種類 スーパー定期(単利型)
※自動継続に限ります。

預入期間 定期方式 1年

預入金額 10万円以上

適用金利 0.03%

税金 20.315%(国税15.315%、地方税5%)の分離課税となります。

中途解約 中途解約される場合は、当JA所定の中途解約利率を適用します。

取扱期間 2023年6月19日(月)～2023年8月31日(木)

寄付金額 本定期貯金の取扱終了後、当該定期貯金残高の0.01%に相当する金額をJAバンク石川が義援金として石川県を通じて被災地域へ寄付いたします。

(寄付は2023年9月の1回のみとなります。)

※お客様への負担はありません。

寄付団体 石川県



お申し込み・お問い合わせ



つるぎ支店 ☎272-1515
大神支店 ☎272-0620
蝶屋支店 ☎278-2315

手取支店 ☎255-5001
白峰支店 ☎259-2003
本店金融課 ☎273-3131

JAカード限定!

よらんかいねえ広場
めぐみ白山直売所で
ご利用いただけます!

2023年9月・10月は

JA直売所のご利用が

15% おトク!

©よりぞう



JA直売所 (JAカード5%割引実施店舗) で、対象期間中にJAカードをご利用いただくと、ご利用金額合計の10%相当分[※]をポイント還元! いつもの5%割引と合わせて、15%相当おトクにご利用いただけます!

※還元ポイントの上限は2,500ポイント(10,000円相当)です。

いつもおトクな
JAカード特典!

JA直売所のご利用は
請求時

5% 割引!

※一部対象外の店舗がございます。

期間限定キャンペーン

JA直売所のご利用金額の

10%相当をポイント還元!

対象期間 2023年9月1日(金)~10月31日(火)

還元時期 2024年1月

対象期間のJA直売所でのご利用金額合計の10%相当分を還元ポイント(4円で1ポイント)を計算します(小数点以下は切り捨て)。
還元ポイントの上限は2,500ポイント(10,000円相当)です。
※ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。※還元金額はポイント交換でキャッシュバックをご選択された場合の金額(1ポイントを4円換算で交換)を記載しています。

詳しくはこちら

<https://www.cr.mufg.jp/jafarmmarket2023/>



※本紙記載の情報は2023年4月時点の内容です。特典については予告なく終了や内容の変更を行う場合がございます。
※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは本特典の対象外です。
※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等でのお支払いは、JAカードを登録されている場合でも本特典は適用されません。

私たちの (令和5年5月末実績参考)

組合員数	6,754名(団体含)
貯金残高	72,933百万円
貸出金残高	17,273百万円
長期共済保有高	1,787億円
購買品供給高	401百万円
販売品取扱高	95百万円

無料税務相談会

要予約

- 開催日時 令和5年7月25日(火) 午前9時~12時(基本30分単位)
令和5年8月25日(金)
- 開催場所 JA 白山 本店
- 顧問税理士 税理士 本田 英夫 (株)アーマス
- お問い合わせ・お申込先 本店総務課 東藤

TEL 272-3333 FAX 273-0690
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp

お申込み順に受け付けております。

